

令和4年度 第1回八尾市芸術文化振興審議会

日 時：令和5年1月27日（金） 午後6時～午後8時10分
開催場所：八尾市商工会議所3階 多目的室・セミナールーム
委 員：藤野（会長）、木ノ下（副会長）、大嶋、辰巳、阿部、大久保、鈴木、
野村、萩原、羽月、細合 ※敬称略
事務局：新堂、式、出水、時田、川下、川井（文化・スポーツ振興課）
北芝（文化振興事業団）
傍 聴 者：0名

1. 開会

事務局より配付資料の確認、委員紹介。
魅力創造部長より挨拶。

2. 審議

案件（1）八尾市芸術文化基本条例及び八尾市芸術文化推進基本計画について

事務局より資料1、八尾市芸術文化基本条例及び八尾市芸術文化推進基本計画について説明。

- 八尾市芸術文化基本条例について、構成及び昨年度の審議会からの主な変更点
 - ・前文について、元々は「八尾ならではの」の表現を含めていたが、芸術文化活動に限定を加えるような表現は好ましくないという意見を受け削除。
 - ・第2条定義第1項について、芸術文化の範囲に一部スポーツを含めるものとしていたが、芸術的評価を伴うスポーツについて明確に定義をすることは難しく削除。
 - ・第2条定義第2項について、「芸術文化による創造及び交流の基盤の形成」を追加し、前文に入れていた同じ内容の文章を削除。
 - ・第4条から第7条について、元々は市の役割のみ規定しており、市以外の市民、事業者、学校などの役割について、市の役割として各主体に理解を求めていくという表現にしていたが、分かりにくいという指摘があり、それぞれの役割として規定。
 - ・その他、各条文について、本質的な内容の変更ではないが、庁内協議、政策法務の観点などにより、言い回しや文言の変更を行った。
- 八尾市芸術文化推進基本計画について、概要と昨年度の審議会からの主な変更点
 - ・パブリックコメントを踏まえた修正点として、専門用語や理解しづらい文言があるという意見が複数あったため、巻末に用語解説を追加。
 - ・ビジョンマップについて、幟（のぼり）の数を減らし、特別なイベント開催中の雰囲気はなくし、日常的に芸術文化活動が市内各所で行われている様子にした。フェスティバルの名称は、より全体をイメージできるものとして「YAO COMMOMS FESTA」に変更。少し寂しかった山の麓や飛行場、工場地帯にイラストなどを追加。7年後のめざすべき姿について、取り組みの内容によって色を変え、重要なポイントは目立つようにした。

会 長○昨年度は非常にタイトなスケジュールの中で審議会を5回開催した。それに加えてワーキング部会を8回開催した。委員の皆さんにご審議をいただいて昨年の4月にまず条例を施行し、6月には基本計画も策定することができた。今日初めて参加される方もいらっしゃるが、以前から参加されてる方もかなり期間が空き、概要について記憶が薄れてるところもあったと思うので、その概要と主な変更点について事務局からお話をいただいた。後ほど審議会の役割については事務局より詳しく説明があるが、他市との大きな違いとして、八尾市で一番力を入れたところは、どのようにして文化的コモンズ、八尾の名称で言えば「やおうえるかむコモンズ」を形成するのか、その形成の基盤をどうするかが一番の焦点になった。

「逐条解説」の12ページ第9条に推進会議と記載しているが、推進会議とは、芸術文化による創造及び交流の基盤の形成に向けて「やおうえるかむコモンズ」を作るために必要な活動を行うべく推進会議を設置するとなっている。それから13ページ第11条に審議会の設置を定めているが、推進会議と審議会の二本立ての会議体となっている。それを図式化したものが、八尾市芸術文化推進基本計画の29ページの図である。基本計画のもとに、推進会議及び審議会があり、審議会への報告、推進会議への審議・助言という矢印がつけられている。この審議会については事務局から説明があるが、このような二本立てにしたところが一番大きなポイントである。以前からお話しているように、自治体の文化政策を進める上で、3点セットはとても重要である。まず、法律に当たるような芸術文化の条例を作ることが重要だが、全国的に見て条例がある自治体は、まだ10%にも満たない。それから条例に基づき基本計画を作るとというのが一番正しい道筋だと思うが、全国で20%くらいである。問題は基本計画をどのように進行管理するかというところで、常設の審議会を作るとはとても重要である。そのため一番良い形は、条例があり、条例に基づいて基本計画を作る、そして審議会は条例あるいは基本計画を作るための審議会で終わるのではなく、策定後の進行管理つまりPDCAのサイクルをきっちり担っていくために審議会を常設で作り、可能ならば年に4回ぐらい開くのが理想的だと思う。この3点セットが揃っている自治体は、全国でもあまり存在せず5%ぐらいの自治体だと思う。八尾市の場合はこの3点セットが揃っているだけではなく、なおかつ、推進会議を作ったことは画期的である。条例あるいは基本計画を策定した後、進行管理ができていない自治体が多い。進行管理まで規定している自治体は全国で5%くらいあるが、問題は推進主体がないと基本計画を作ったとしても、きっちりした効果が生まれない。例えば5年後10年後に、どういうまちにしたいかという夢を抱いても、その着地点やプロセス、工程表がはっきり刻まれていかない。しっかりと工程表に基づいて推進していくという推進主体を明記したことは、全国で画期的でおそらく初めてのケースである。まだ模索段階ではあるが、推進会議が軌道に乗れば、全国的に発信していただきたいと思う。八尾市がいかに先進的な文化政策の取り組みをしているかということをご紹介した。

案件（2）審議会の役割について

事務局より審議会の役割について説明。

●推進会議と審議会の役割及び関係

- ・推進会議では、基本計画で規定した、リーディングプロジェクトなど、コモンズとして実施する事業の推進に取り組む。
- ・審議会では、基本計画の進捗状況について、定量評価や定性評価などにより調査及び審議を行う。また推進会議からの取り組み状況の報告を受け、それに対する審議及び助言を行う。

●審議会の設置及び運営

- ・基本条例の第11条「基本計画の策定及び変更その他施策の推進に関する重要事項を調査審議する」ことを目的として設置及び運営すると規定。
- ・年2回開催し、数値指標による定量評価や推進会議での取り組み状況の評価により、計画の進捗管理を行うとともに、次年度以降に向けた提言や次期計画の検討などを行う。
- ・「①数値指標による定量評価」について、「八尾市第6次総合計画」の実施計画で定める施策評価で定められた施策指標における毎年度数値の状況を確認し、評価を実施。
- ・「②リーディングプロジェクトの評価」について、今年度リーディングプロジェクトの1つである高校合同文化祭のプレイベントを開催したが、この報告を受け、改善すべき部分など次年度に向けた提言を行う。
- ・「③推進会議の取り組み状況の確認」について、現在の推進会議における取り組み状況の確認を行う。
- ・「④主な取り組み状況の確認」について、その他本計画に沿った取り組み状況の確認を行う。

会 長○計画の31ページには、審議会の①、②、③、④と書いてあるが、文化振興事業団の活動については適宜報告が審議会であるのか。

事務局○文化振興事業団において、本市の芸術文化の拠点である八尾市文化会館の指定管理者として管理をいただいているところである。基本的には審議会の中で、先は

ど申し上げたように推進会議の取り組み状況などご報告をさせていただくところである。文化振興事業団には推進会議にも入っていただき、一緒に八尾市の芸術文化を推進していく取り組みにもご参加いただいている。その中では文化会館を使った取り組みなどもあると思うので、そういったところを踏まえ、文化振興事業団の取り組みも合わせ、必要に応じてご紹介させていただけたらと考えている。

会 長○こういった審議会の位置付けはなかなか理解しにくいところがあるが、推進会議でこれから様々な事業の推進をしていき、それに対しての進行管理ということで、評価や検証を行っていく。それと自治体によっては、文化振興財団及びホールや劇場があり、そこで活発に様々な事業を行っている。その文化振興財団や文化振興事業団が行っている事業の内容についての評価をどこで行うのかという問題が時々出てくる。財団は公共的な団体であることから理事会及び評議会があり、その中で様々な管理運営をしていると思うが、その財団の活動に対する外部評価が出てくることがある。その外部評価について、審議会を設置する自治体は審議会で行うのか、もしくは財団の外に評価委員会を作って行うのか、この二つのタイプがあると思う。文化振興事業団の外部評価は今まで行われていたのか。

A 委員○外部評価について、文化振興事業団は二つの性格を持っている。一つは八尾市文化会館の指定管理者という性格で、もう一つは文化振興事業団が八尾市から出資を受けて設立したことから市の外郭団体としての性格である。この二つの性格について、まず指定管理者としては指定管理者の報告書を毎年年度ごとに八尾市に提出させていただき、その間も自己評価を行い四半期ごとのモニタリングを実施し、市からの評価を受けている。次に八尾市の外郭団体として、市から経営状況評価の確認をされている。これらの点で、外部評価がなされている。

会 長○文化振興事業団として独自に外部評価委員会を立ち上げて外部評価を依頼していないということか。

A 委員○今は依頼していない。

会 長○八尾市と文化振興事業団は指定管理の面、それから財団としての面で評価検証なさってるが、そのフィードバックは審議会にあるのか。

事務局○先ほど説明のあった指定管理者及び外郭団体としての評価については、八尾市で実施させていただいてるところだが、八尾市議会の方にもご報告をさせていただいている。そこで様々ご意見を頂戴することもあるため、文化振興事業団にもフィードバックすることもある。審議会へのフィードバックについては、現状でいうと審議会の前身の市民会議でも、文化振興事業団の経営状況評価や、モニタリングの結果について報告を行っていなかったと思う。

会 長○審議会が八尾市全体の文化政策及び文化行政を統括するということであれば、外郭団体についても、少なくとも報告を受けるとか、意見を伺うといったことは、あっても良いと思う。ご検討いただきたい。

事務局○今回頂戴した意見を踏まえ、検討させていただければと思う。

A 委員○これまでの経過を申し上げますと、計画は条例ができる前から「第一次」及び「第二次八尾市芸術文化振興プラン」という名称で策定されていた。今回条例に基づいて八尾市芸術文化推進基本計画が制定されたが、これまでの経過の中で、八尾市全体の芸術文化の振興あるいは推進度合いを量るということで、その中に文化会館も大きな拠点として存在する。しかし文化会館指定管理者が市内で行われる文化振興に関する事業全てに携わっているわけではないため、プランの中では、市全体の文化振興がどれぐらい進んだかという点と、その中で文化振興事業団はどの部分をどれくらい進めたかという観点で、実施期間中の進捗状況のご報告を行った。本日も報告をさせていただく予定だが、文化振興事業団が市全体の芸術文化を推進する一部分の位置付けとして評価指標でこれまでも報告させていただいた。

B 委員○「八尾市芸術文化推進基本計画」の30ページに、やおうえるかむコモンズでイベントを実施する流れ（ウォールアート編）が記載されているが、事業所としてシャッターに絵を描いて欲しいと思った際、依頼に至るまでにこういった形で皆さ

んに周知されているのか。

事務局○ウォールアート編は例示として書かせていただいているところだが、現在推進会議を立ち上げており、その中でリーディングプロジェクトを初めとして、様々な取り組みを皆さんのご協力やご支援をいただきながら進めていこうとしている段階である。そのリーディングプロジェクトの中に、ポータルサイトの構築があるが、現在どのように構成するか検討しているところである。令和5年度中に立ち上げをめざして進めているところだが、ウォールアート編で例示しているような取り組みについても、ポータルサイトを通じて要望や依頼をお聞きするような機能を取り入れればと思っている。一方で、アーティストの側からも発信ができるようにしていきたい。またポータルサイトだけではなく、様々な広報媒体も使っていきたいと考えており、推進会議及びやおうえるかむコモンズを通じたネットワークの中からも発信をしていただき、様々な形で周知していきたいと思っている。今後は積極的に発信を行い、芸術文化の魅力を活かした豊かなまちづくりに繋がっていけば良いと考えている。

C委員○ウォールアート編の例示は、推進会議の中で企画立案していく段階の一例として案が出ただけでまだ決定していないが、今後議論していきたい。
この審議会で八尾市の芸術文化の中核である文化会館の評価のことは記載いただいているが、気になるのは裾野をどれだけ広げていくかで、その裾野が広がったところを皆さんと評価していきたいと思うが、いかがか。

会 長○広がりや浸透度をどのように評価及び指標化するかという問題について、どのように考えているか。

事務局○やおうえるかむコモンズは有機的なネットワークであるが、こういった目に見えないものがどれくらいの広がりを見せているかというところを、数値化していくことは難しい作業であると思う。ただ何らかの形で広がりを見せているということとはご説明していきたいし、それを実感していただくということも必要だと考えている。そういった中で、例えば一つの形として、ポータルサイトにアーティストのデータベースのようなものを作っていきたいという思いもある。生業として芸術文化の活動をされている方もいらっしゃるが、趣味として活動されている方もいらっしゃるが、そういった方々にポータルサイトへ登録をしていただく。また、芸術文化に携わる方だけではなく、工場やお店といった芸術文化以外の他分野の方々とのコラボレーションも進めるとともに、そういった個人や団体の方々、拠点をポータルサイトへ登録していきたいと考えている。ポータルサイトへの登録数が増加しているといったご報告は、また適宜させていただけたらと考えている。また推進会議で企画していただいたイベントなどの参加者数など、審議会の方でもご報告をさせていただくことから、どれくらい広がっているか、お分かりいただける指標となりうると考えている。

C委員○ポータルサイトを充実させていく中身の報告についても、審議会を確認あるいは評価し、裾野が広がっていることを実感していくということか。

事務局○ポータルサイトだけではないが、一つの有力なツールと考えているので、その状況についてもご報告させていただく。また、推進会議での取り組みなどもご報告をさせていただく。

事務局○やおうえるかむコモンズ推進会議の幹事会でも、ポータルサイトの登録と定量評価のお話はあったかと思うが、ポータルサイトにたくさんのアーティストや、芸術文化の活動団体、あるいは絵を飾ってよいと言えるような事業所やお店の登録を増やしていこうと考えている。ただゴールとしてポータルサイトの登録数が単純に増えたことで裾野が広がったという話ではないと思う。登録数は目に見える定量評価の部分にはなと思うが、重きを置くべきは、ポータルサイトを通じてどのようなマッチングができたのか、それによって市民の方が立ち寄った喫茶店で芸術文化に触れて良かったという経験をされたのか、あるいはイベントなどでポータルサイトに登録した団体同士が結びついて、コラボレーションのイベントを行い、芸術文化に触れて楽しい経験ができたといった部分をしっかり評価をしていくことが、八尾市で芸術文化の裾野が広がっていくことを示すことになるのではないかなと考えている。その部分が「八尾市芸術文化推進基本計画」の31ページに記載している審議会の設置・運営の「④主な取り組みの状況

の確認」を行うというのが定性評価をやっていくべきところだと考えている。あわせて補足になるが、文化会館の事業評価をどういう形で行うかというところだが、同じく31ページ「文化会館指定管理者が実施する事業の入場者数」が定量評価の指標としている。この数値について審議会でご報告などさせていただく中で、数値だけではなく、事業内容などについてもお話しさせていただけると思っている。そういった意味では外部的な評価というのはこの審議会が担うというような形になるのかなというところである。

会 長○これから評価を考えていく際に、どういう評価の指標や方法があるのか検討しなければならないと思うが、やおうえるかむコモンズの場合はいろいろな拠点や人との繋がり、つまりネットワーキングがたいへん重要である。今まで繋がっていなかったものが繋がっていく、どのくらい強い繋がりを持ち始めたのかという強度がとても重要になってくると思うので、私は情報論とか、統計学の専門家ではないため軽々しく言えないが、テキストマイニングという手法がある。いろいろなキーワードを入れていくと、どことどこが繋がっている、その繋がり方の強さがどのくらいあるか、コモンズが形成されつつあるか、また経年変化が見えたりするので、そういった新しい手法を取り入れる定性評価もとても重要だ。定量評価するのに何人入ったとか、満足は何%かというのは、少し古い感じがする。だからその繋がり方を見ていくために何かテキストマイニングみたいな方法を入れてみてはどうかと思うが、最近文化政策なんかの研究でよく発表を見るが、例えば、演劇祭とフェスティバルがどのくらいの地域と繋がっているかとか、どの場所とどこが繋がってるか、どの人とどこが繋がってるかなど、そういった強度を見える化するため、そういった手法を使ってるものがあるが、検討してみると面白いと思う。内部でできなければ、外部委託になるかもしれないが、そういった研究者がいれば声をかけてみるのも良いと思う。

事務局○テキストマイニングも含め、どういうふうな形で評価をして、それが次に繋がるのかということも研究して参りたい。

会 長○最近、ビッグデータを使っていろいろな繋がりや強さが出てくるが、そこまで大げさな話ではないが、ネットワーキングがどこまで浸透してるか、あるいはその深さがどこまで浸透しているかが数値化あるいは目に見える形になれば面白いと思う。

案件（３）第２次八尾市芸術文化振興プランの評価指標（令和２・３年度実績）について
事務局より資料２、第２次八尾市芸術文化振興プランの評価指標（令和２・３年度実績）について説明。

- ・令和２年度について、新型コロナウイルスの影響により、様々な事業が中止になったため、事業の回数や参加者数については全体的に減少。
- ・令和３年度について、文化会館が大規模改修工事に入ったため、文化振興事業団では学校へのアウトリーチ事業を始め、館外へのアウトリーチ事業に力を入れて実施。
- ・前プランの評価指標のうち三つの指標については、新しく策定した八尾市芸術文化推進基本計画の定量評価指数にもなっている。そのうち「小中学生を対象とした芸術文化関係のイベントの参加者数」及び「八尾らしさや魅力を活かした事業の数」について実績を報告。

事業団より令和３年度の事業実績について説明。

- ・「芸術文化で学校訪問」
- ・「ブラッシュアップ！吹奏楽クリニック」及び「八尾市吹奏楽フェスティバル」
- ・「子ども河内音頭講座」
- ・「やお発高安能未来継承推進プロジェクト 能の世界に飛び込んでみよう！」
- ・「アート&シアター構想のプレ企画 童画家・徳治昭さんとリニューアルオープン記念作品を作ろう！」
- ・「まちで魅了する舞台 for Familyうたって！おどって！楽しいね！」

会 長○「八尾市芸術文化振興プラン」の指標のうち「八尾市芸術文化推進基本計画」でも定量評価の指標として使用するものがあり、それらをピックアップして説明していただいた。また文化振興事業団から昨年度実施したアウトリーチ事業などについて具体的に説明をしていただいた。

先ほどの説明にあった評価指標の一覧で、令和２年及び令和３年と文化会館が改

装している時には、アウトリーチ回数が43回及び47回と以前より回数が増えている。改修による休館中だったため、スタッフや予算を充てることができたからだと思うが、今後はこういった推移で行くのか。

事業団○予算に限りがあるため、休館中と同じように全校対象という形で実施できないが、毎年「芸術文化の課外授業」という形で、学校へお伺いさせていただいている。この課外授業について、従来まで芸術文化団体のアーティストを学校へ派遣し、クラス単位で音楽の授業や国語の授業として実施していたが、今は体育館などを使用し、できるだけたくさんの方々に鑑賞体験をしていただけるような形で実施している。小学校、中学校各3校程度で、回数の許す限り実施させていただくというのが例年の内容になる。

会 長○今のように「アウトリーチ」を学校の体育館や野外で実施することはとても良いと思うが、それに対して子どもたちに文化会館に来ていただくという「インリーチ」という動きがある。今後「アウトリーチ」から「インリーチ」へと流れを変えるような取り組みもあるのか。

事業団○「親と子のはじめての演劇体験プリズムチャームプロダクションシリーズ タジタジ大どろぼうとオロオロ魔法使い」という事業に関しては、小学校5年生をご招待している。お手元のチラシ裏面に記載させていただいてるが、招待公演として八尾市立小学校の5年生をご招待させていただいている。2日間にわたり14校の小学校に来ていただくが、文化会館から距離のある学校に関しては文化会館に行きづらい現状があるため、バスを手配させていただき、学校から文化会館への送迎を行い、良質な公演を音響や照明効果のある劇場で楽しんでいただくという形で企画させていただいた。

それ以外にも、社会見学という形で「バックステージ・ツアー」を実施し、学校のクラス単位などで舞台の裏側を見ていただき、劇場自体を体験していただく機会も計画させていただいている。

「大阪フィルハーモニー交響楽団 八尾演奏会」に関して、大阪フィルハーモニー交響楽団の先生が、先ほど申し上げた「芸術文化の課外授業」の講師として赴いていただいているうえ、吹奏楽クリニックに関しても楽団員の方に講師を務めていただいている。そこで教わった先生がオーケストラの中で演奏されている光景を生で見ていただくことを経験していただくため、各校の吹奏楽部を通じてワンコイン500円という安価なチケット設定でご案内している。また来場していただいた方には、その際講師を務めてくださった楽団員の方と面会の場なども設け、オーケストラをより身近に感じていただけるような、また関係性が深まるような企画をご用意させていただいている。

会 長○公演の価格設定が面白い。S S席が6000円というのは妥当だが、「若者を応援！」と掲げ、フレッシュシートとして25歳以下は1000円、18歳以下が500円と破格の価格設定である。こういう設定はなかなか良い。さらに当日残席がある場合あるいは休憩後はハーフチケットが設定されていたり、いろいろ考えておられ素晴らしい。

A 委員○今年は大規模改修により1年4カ月休館していたうえ、コロナウイルスの関係で吹奏楽部の活動自体が低迷していたため、学生の反応が少しよろしくない。通常であれば150から200名ぐらいは中高生がいらっしゃる。そのため今回は、ご招待枠も設けたことから、ご近所の方などへ声を掛けていただければと思う。コロナウイルスが少し落ち着いたため、去年よりは盛り返しをみせることができると思う。

案件（4）やおうえるかむコモンズ推進会議の実施状況について

事務局より資料3、資料4、やおうえるかむコモンズ推進会議の実施状況について説明。

- 「やおうえるかむコモンズ推進会議」の設置目的、取り組み内容及び進捗報告
- ・芸術文化の有機的なネットワークである文化的コモンズの考え方を取り入れ、推進会議を設置することを「八尾市芸術文化基本条例」第9条で規定。
- ・芸術文化による創造及び交流の基盤を計画の中で「やおうえるかむコモンズ」と命名し、リーディングプロジェクトなどに取り組み、形成をめざす。
- ・八尾市の特徴として、条例、基本計画及び審議会の3点セットに加え、推進会議を設置したことが挙げられる。また、人や場所、活動が繋がっていく芸術文化活動の有機的なネットワークの中には、アーティストや芸術文化団体、あるいは文化会館のようなホール施設だけではなく、企業やNPO、学校や寺社など様々な芸術文

化の分野外の形成主体も含まれるのも大きな特徴。

・八尾市の従来の文化行政は、芸術文化そのものの振興を中心に取り組んでいたが、芸術文化を通じた豊かな心の醸成や人格形成といった「ひとづくり」、観光など他分野と芸術文化を結びつけてまちを活性化させる「まちづくり」、そして芸術文化の持つ多様性を尊重し「社会をつくる」といった考え方を生かし、やさしいまちづくりの実現、社会的包摂の考え方も取り入れた。

・やおうえるかむコモンズ推進会議の具体的な取り組みについて、6つの機能がある。

・「コモンズ形成に資するプロジェクトの紹介・プロジェクト参画メンバーの募集」について、プロジェクトを立ち上げる際、内容を紹介し、参加者を募って部会を立ち上げ、そこで具体的な計画をつくり開催をする。

・「新しく推進会議に参画するメンバーの活動紹介」について、推進会議メンバーが随時増えていった際、新しいメンバーの活動内容や、推進会議の場でどういったことに取り組んでいきたいのか、自己紹介の場を提供する。

・「ポータルサイトに新規登録された活動団体などの紹介」について、推進会議でポータルサイトの登録状況を紹介し、推進会議のメンバーに知っていただくとともに、登録していただいた団体とコラボレーションのイベントを開催したり、マッチングのきっかけづくりを検討する。

・「推進会議メンバー以外からのプロジェクト紹介・プロジェクト参画メンバーの募集」について、推進会議メンバー以外の方でもコモンズ形成に資する取り組みを行っている方、あるいは取り組みを行いたいという方のプロジェクトを紹介したり、参画メンバーを募集できる場を提供する。

・「コーディネーターやアートマネジメントの勉強会の実施」について、今後ネットワークを作っていく中で必要不可欠であるコーディネート支援のノウハウや、芸術文化と社会を結びつけるアートマネジメントといったスキルを学ぶ場を企画及び実施する。参加者は推進会議メンバーに限らず、ポータルサイトの登録者にも周知する。

・「芸術文化活動に対するコーディネート支援」について、イベント実施に関するアドバイスをを行う。

・これらの機能について、昨年6月に計画を策定し、12月に推進会議を開催したため、すべての機能を一気に発揮することは非常に難しかったため、まずは「コモンズ形成に資するプロジェクトの紹介・プロジェクト参画メンバーの募集」及び「新しく推進会議に参画するメンバーの活動紹介」から着手し、徐々に拡張させていく。

●「高校合同文化祭」の経過報告

・八尾高校はご都合がつかなかったが、金光八尾高校、八尾北高校、八尾翠翔高校、山本高校の4校にご参画いただいた。

・高校合同文化祭部会メンバーとともに、高校生と打ち合わせを行い、イベント名「高校生の大美術展」を決定。

・市では一切予算を取っていなかったため、企業へ協賛のお願いに上がり、5社からご支援をいただいた。

・本年1月17日から22日に八尾市文化会館で「高校生の大美術展」を開催。

・展示の準備及び撤収の際は、高校生だけではなく、文化振興事業団やその他の推進会議のメンバーの方も駆けつけていただいた。

●「ポータルサイト」の検討部会における結果報告

・1月22日に初めて部会のメンバーで打ち合わせを行う。

・ホームページに掲載する内容の整理やレイアウトデザインの協議を行い、令和5年10月頃を目途に、ポータルサイトの開設をめざす。

会 長○これだけ多彩な取り組みを、集中的に行ってきた。昨年12月に推進会議の全体会でグループワークを行ったが、いろいろな楽しいアイデアが出て、わくわく感があった。ただ少し心配なことは、乗りが良すぎたように思う。乗れない方をどうするのかというのが、社会的包摂の立場からすると重要であるため、そうではない方を取りこぼさないような仕掛けも次は重要になってくると思う。一部の方だけ立ち上がって取り組んでいるように思われ、他の方々に退かれてしまうことがないようにする方策も次の配慮としては必要だと思う。ただ、全体会の1回目はいたいへん良い雰囲気だったので、私もある意味で感激した。

B 委員○今おっしゃっていたように八尾市の方は飲み会など好きな方が多いが、アーティストの方は内向的な方が多く、おうちの中でずっと作業したい、出向くことが苦手という方も結構いらっしゃると思う。そのため、ポータルサイトを充実させ、マッチングがうまくいくような仕組みを作っていただきたい。あまり難しくなく、

簡単に探し合えるような、サイトを作ってほしい。

資料2の評価指標「⑬芸術文化を魅力として活発に発信する」の「①五大紙への記事掲載数」について、コロナ禍とはいえ、令和3年度の目標値30に対して実績値2というのは、この中に食文化も入っているのか。記事掲載数をどこまで把握されているのか、この実績値の内容について疑問に思う。

事務局○「八尾市芸術文化振興プラン」での実績値になるため、このタイミングでは食文化は入っていない。

事業団○休館中であつたため、「芸術文化の学校訪問」といった対象者が決まってるものに関しては取り上げられなかった。通常、文化会館からプレスリリースという形で出させていただいた結果取り上げていただくことが多いが、休館中は、そういった活動をさせていただいていなかったことが考えられる。実績値2件の内容については、入場料無料の文化振興事業団の事業である。

D委員○会長からもお話があつたが、八尾市の走る方はすごく目立って、その一方で少し落ちついた方もたくさんいらっしゃると思うため、その方々を取り残さないようにすることが大切である。また「やおうえるかむコモンズ」に関して、とてもよくできていると思っており、今後新しい取り組みをどんどん行い、それをどんどん盛り上げていく流れになると思うが、すでにコモンズと同じような動き方をされてる団体やグループがたくさんいらっしゃると思う。その方々にとって、八尾市が独走して新しいものを作って取り組んでいると思われないうちに、一緒にできるような形の掘り起こしも、忘れずに行っていただければと思う。

会 長○とても大切なことなので、よろしくお願いしたい。

副会長○この推進会議とコモンズができたことはとても豊かな環境だと思う。しかし、運営にあたって実施体制の事務局の機能や、運用していくための基盤を皆さんで行うことは良いことだが、現実的に総括する役割を八尾市が今後も担っていくことはできるのか。運用のスキームとしてとても良いことばかり描かれているが、その担い手が今後文化振興事業団になるのであれば、運用の人材といった負荷などはこのコモンズの中に機能させるのかなど、体制やマネジメントはどうなっているのか気になる。出来事と計画、それを運用していく母体はセットアップだと思う。そうでなければ、ポータルサイトに関しても、誰が運営し更新していくのか、実務的な観点も絶対必要だと思うので、絵に描いた餅にならないようにするための実施体制やスキームについて、計画の次の段階かもしれないが、検討した方が良く現実面として考えた。

事務局○こういった夢の部分を活気づけていければ良いと思うが、現実問題としてどのように運用していくのか、継続していくのか、非常に重要な課題と考えている。現時点において、この推進会議の運営などについても、行政である八尾市の文化・スポーツ振興課で担っている部分が多い。市の組織として対応していく部分もあるが、人的な部分でいうと人事異動などもあるため、専門的なノウハウの蓄積が現実的に難しい部分もあると考えている。そういった部分を文化会館の指定管理者である文化振興事業団の方に担っていただいている理由は、専門的な人材を多数有しており、芸術文化の事業などに日々取り組んでおられるため、そういったお力をお借りしながらやっていかないといけない部分はあると思う。今後どういった形で関わり、一緒に取り組んでいくことができるかといった事務局機能について、文化振興事業団の方でも文化会館指定管理の業務を中心として計画的に事業を実施されておられるため、そのビジョンの中に含めていければと思うが、令和3年度から現在の指定管理期間が始まり、条例や計画ができて間もないため、完全に取り組まれているかというところはまだそこに至っていない。ただ、今後は八尾市と文化振興事業団と協議しながら、どういうふう融合していくことができるか検討をしていく必要があると思う。またそういった中で、専門的な機関と行政が、市民の方や、芸術文化に関わる個人、団体の方々にもお力を借りながら取り組んでいくことができる仕組みを構築していきたい。的確なお答えになっているかどうか分からないが、現時点での思いを述べさせていただいた。ポータルサイトについても、八尾市で予算が確保できないため、文化振興事業団と相談させていただきながら委託料の中から捻出していただく形で取り組んでいる。ただ維持管理や改修、内容の更新、改修といった部分について、今は八尾市の職員で取り組んでいこうと思っているが、今後推進会議のメンバーの中で支援していただ

る方がいらっしゃるか、文化振興事業団にもどの程度担っていただくのか課題としてある。
現在検討段階であるため、断言できない部分があるが、今後課題解決に向け具体的に協議していきたい。

会 長○今日は内容的に報告事項が中心になったので、委員の皆さまからあまりご意見を
いただけなかったが、次回３月の審議会では、今日の話も踏まえて活発な議論を
いただきたいと考えている。

３． その他

事務局○本日の会議の内容については、ホームページへの掲載を予定している。掲載にあ
たり、各委員へ内容の確認を行う。会議内容を各委員へ送付するのでご確認いた
だき、修正などについては事務局へ連絡してほしい。

４． 閉会

(以上)